



東洋電装グループ 2022年度 経営方針発表会





ハコ電機工業株式会社



田中社長

022年度 経営方針発表



東洋電装 IoTシステム開発事業



株式会社 TD Holdings 間接部門



東洋電装 空調システム事業



桑原リーダー

6月は東洋電装グループの年度初め。6月4日(土)にメルパルク広島にて経営方針発表会が行われました。第1部では、各事業リーダーが2021年度の報告と2022年度の事業方針計画について発表を行いました。第2部はガラリーとムードを変え、レク委員会プロデュースのビンゴ大会で大盛り上がり。東洋電装グループらしい、メリハリのある良い会となりました。



私たちのお仕事

実績紹介

『シャワーステーション遠隔管理システム』が西日本高速道路の小谷 SA 下りに導入されました。

西日本高速道路の小谷 SA（下り）内のシャワーステーション施設に、予約管理システムを導入しました。シャワールームの入室管理をシステム化することで遠隔から管理できるようになり、満室時の予約や待ち時間、予約人数などをディスプレイに表示することが可能です。



シャワーステーション外観



シャワー個室



予約表示サイネージ

背景

PA 施設内に無料貸し出しのシャワールームがあり、現在カギの受け渡しを店舗のスタッフがやっている。夜は店舗が無人になるため鍵の受け渡しができず、シャワールームの使用を停止せざるを得ない。無人化、効率化を目指すと共に、満室時の予約対応など CS の向上を目指したい。

課題

- 施錠管理をスタッフがっており、夜間には対応不可
- 夜間の店舗無人時の監視と管理
- 待ち時間の見える化で CS 向上したい
- コロナ禍での待合室の感染対策

解決

- 予約管理システムによる 24H 無人施錠管理
- 管理用端末（店舗と管制センター）で遠隔操作可能
- スマホ活用の予約システムで利便性 UP による CS 向上
- サイネージの待機人数表示や SMS へのお知らせで、待合室にずっといる必要がなくなる

システム概要

予約

携帯電話、スマホで QR コードを読み取り、専用 WEB 画面より予約操作
※携帯電話、スマホがない利用者はレシート発行で予約操作

通知

利用可能となれば、携帯電話、スマホにメールで通知
※レシート発行の予約者はレシートに記載してある時間限定

利用

予約時に配布された 4 桁の暗証番号を入室端末へ入力し鍵を開けて入室

終了

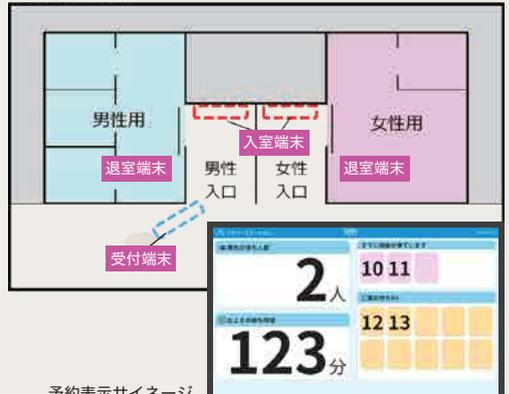
利用終了後に退室端末にて鍵を開けて退室



予約画面

退出画面

シャワーステーション



予約表示サイネージ

開発者の声 IoT 事業の上土井さんにお話を聞きました。

本システムの開発は既存の設備の改造から始まりました。既存の設備と新しいシステムを組み合わせるのは難しいことではありますが、制御盤事業と協力することで素早い対応ができました。運用開始後に出た課題に対しても都度対応

し何度かアップデートしています。今後も音声を追加したりコスト削減の工夫をしたりと、より良く進化させていく予定です。これから小谷 SA 以外にも導入されるとのお話もあります。新しい導入実績にご期待ください！

本システムの導入について、西日本高速道路ファシリティーズ株式会社様の社内功労表彰にて表彰いただきました！





からの

DX

vol.01

IoTシステム開発事業
2022年入社

江田 さん



◎ まずは自己紹介から

はじめまして！IoTシステム開発事業の江田です。**太田先輩からコラムを引き継ぐことになりました。**太田先輩にはいつもお世話になっていて、わからないことがあるといつも笑顔で教えてくれます。このコラムをお借りしてお礼をさせていただきます。「いつも、ありがとうございます！」

そんなこんなで、入社して約2ヶ月半経ちました。毎日わからないことだらけで何か覚えてもまた新しい知識や技術が「やあ！」と言ってにこにこしながら無限に追いかけてくる、そんな毎日を送っております。

まずはなんでこのコラムの題名を「**ゼロからのDX**」にしたのか紹介していきたいと思います。

たまごとじを毎月読んでいる皆さんならわかると思いますが、今東洋電装では可部にあるDX工場（可部事業所）で工場見学を行っています。見学に参加するお客さ

んと接する中で、DXについて名前は知っているけど説明できない、とにかく凄そうなことしてるんだらうなって方へ、DXについて0から紹介していきたいと思ったからです。もし間違った情報だったときはこっそりと教えてください。Web版だけでも書き換えておきます笑 では、**1年間頑張りたいと思うのでよろしくお願いします！**



◎ 誰が言い出したDX?

今回第1回目は、**DXってそもそもどこの誰が言い出したのだろう？**と思う方おられますか？まずはこちらから紹介していきたいと思います。

DX(デジタルトランスフォーメーション)という概念は2004年、当時スウェーデンのウメオ大学の教授であったエリック・ストルターマンという方が論文の中でDXの概念を示したことから、DXの提唱者と呼ばれています。

エリック・ストルターマンさんの研究分野は、HCI(ハイパーコンヴァージド・インフラストラクチャ)、インタラクションデザイン、デザインプラクティス、哲学、デザイン理論などを研究されています。

ぱっと見だとデザイン系の教授に見えますけど、そんな方がDXという概念を考えたのはとてもびっくりですね。

エリック・ストルターマンさんが最初に定義したDXという概念は「**デジタル技術(IT)の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること**」を意味していました。ここからわかるように、DXという言葉自体は本来、ビジネスだけに関連する言葉ではありませんでした。現在DXは組織や個人が主体的かつ戦略的に起こすものとしての使い方が主流となり、特に企業、行政、自治体などの自己変革という面で使われている他、単なるデジタル化として使われているケースも増えています。そこで現在の日本の実態を考慮し、エリック・ストルターマンさんは、新たなDXの定義を策定いたしました。2004年当初の定義は「社会におけるDX」を表していましたが、**DXは組織や個人が主体的かつ戦略的に起こすもの**という使い方をサポートする形で、2022年2月に、「日本の社会と企業の競争力と成功を高める」ことをビジョンとして掲げる、株式会社デジタルトランスフォーメーション研究所とコラボレーションの上、**社会のDX、公共のDX、民間のDX**、3種類に分けて策定されました。

3つのDXがあったなんて僕も初めて知りました。

チーム運営について

リーダー社員はこんなことを考えている。
伝えたいこと、聞きたいこと、リーダーなりの喜びや悩み。
チームメンバーへ。リーダー仲間へ。未来のリーダーへ。

高速道路システム事業 折出 さん

目指しているチームの姿は？

3つのテーマがあります。1つ目は「ワンチーム」。自分の役割だけで満足するのではなく、チーム（事業）全体での目標視点に置き換え、他人事にならないチームが理想です。2つ目は「遊び場のできるチーム」。仕事を楽しめるように相談しあえる事業を目指しています。3つ目は「失敗を恐れずにチャレンジしやがるチーム」です。

メンバーにどんなことを伝えていますか？

先ほどの「目指す姿」で話した、「ワンチームであること」「チャレンジすること」と他に「大きな視野で物事をとらえる事」「他事業に貢献する事」「一人でかかえない事」「人は違う事」「調べる事（疑う事）」を伝えるように意識しています。

こういった形で伝えていますか？

事業でのミーティングや会食などのコミュニケーションの場面ですね。必要に応じて資料を使うこともあります。会話ベースのことが多いです。

チームを運営する上で大切にしていることは？

まず「人は違う」ということを忘れないようにしています。人それぞれ性格や価値観が違うので、同じことでも伝わり方が違います。それぞれのメンバーに合った伝え方を心がけています。

伝え方の工夫とは？

例えば1、2、3の事柄があって、2を伝えたい時1→2で伝える人、3→2で伝える人がいるので、入口を変えている感じですかね。あとは、その人が分かりやすいものを例にすることもあります。野球に例えたり、家族に例えたり。

ほかに大切にしていることはありますか？

対話できる環境作りに気を付けています。食事の時や喫煙所など、ちょっとした場面での声かけも大事です。できるだけこちらからの一方通行にならないように意見を聞くことを心がけていますが、できているかな……。あとは、「なるべく早く決断し実行すること」「場の空気感をコントロールすること」も大切にしているポイントです。

チームがうまくいっていると感じる時はどんな時？

シンプルに業績が上がっていることが一つですね。また、メンバー同士で課題について相談し合い、担当外の案件にも積極的に協力している様子など、普段の姿を見てそう感じることも多いです。悪口や弱音はほとんど聞こえてきません。

事業メンバーに聞いてみたいことは？

将来像や、そこに対して抱えている悩みや不安があれば、聞かせてください。

他のリーダーに聞いてみたいことはありますか？

得意、不得意、失敗談、成功談、事業運営で大事にしているポイントを聞いてみたいです。

折出リーダーの失敗談、成功談は？

昔は、指示することだけを考えていて意見を言えない環境を作ってしまった。メンバーにとって何が一番良いのかを考えられず要求ばかりでした。

最近はメンバーにしゃべってもらう、考えてもらう、権限を与えるなどをベースにし、私自身の考え方も変わってきました。私もわからない事は相談しています。自分で考えてもらうこと、相談することで、メンバーも私自身も成長し事業の成長に繋がっていきたいです。

自身の今後の目標は？

リーダーとしては、なんでも話せて良いアドバイスができる存在を目指します。また、東洋電装グループ全員が働き甲斐や満足度を実感し、ここで働くことが良い生活の一部になることも一つの目標です。入社してよかったとみんなが思える会社に成長させていきたいです。

リーダーの頭の中

ぷち

TDニュース

制御盤システム事業サイトがオープンしました。

今すぐチェック!

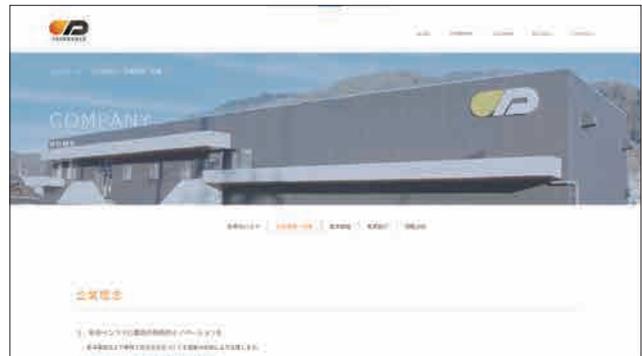
この度、制御盤システム事業の事業サイトがオープンいたしました。
事業拠点である可部事業所 DX ビジョン・テーマである FRICS Fab の情報など更新していきます。
ぜひチェックしてみてください!



東洋電装株式会社 WEB サイトがリニューアルしました。

今すぐチェック!

東洋電装株式会社の WEB サイトを全面リニューアルいたしました。
これにより、スマートフォンやタブレット端末からも見やすくなりました。
ぜひチェックしてみてください!



本日定時退社 につき!



6月17日(金)

『水木さん、檀上さん、中野さん、宇野さん、
驛場さん歓迎会&2021年度お疲れ様会
&2022 年度決起集会』が
行われました。



おつかれさま

ぷち

TDニュース

介護事業の実証研究プロジェクトがスタートしました。

介護見守りシステム「まもる〜の」を展開している株式会社 ZIPCARE が、一般社団法人働き方改革実現ネットワーク広島、医療法人社団明和会と連携し、介護施設への ICT 導入と同時に働き方改革のサポートを実施することで、介護業務の効率化や業務負担だけでなく『働きがい』向上につながるかの実証を始めました。

人口減少による「人材不足」に悩まされている介護業界は DX 推進が最も遅れている業界とも言われており、ICT 導入によって見込まれる「業務効率」「人手不足」といった課題の解決が、働き方改革の本質である『働きがい』につながることを目標として、まもる〜の Station を使用して、職員の働き方、利用者の QOL、職員の働きがいを ICT 導入前後のスコアやアンケートにより比較検証していきます。

詳しくはこちら



ZIPCARE が日刊工業新聞と広島経済レポートに掲載されました。

2022 年 6 月 9 日発行の日刊工業新聞、2022 年 6 月 23 日発行の広島経済レポートに株式会社 ZIPCARE が掲載されました。

2022 年 6 月 1 日に開始した介護事業の実証実験プロジェクトについて触れていただきました。



Good & New 東洋電装社員の、Good なことや New なことをご紹介します。

東洋電装

合原 さん

現在の禁煙が約 5 週間の継続中です！
相棒（アイコスシルマ）を眺めながら頑張っています！
今の目標は、年末の BIG ニュースで「禁煙最高！！（成功！！）」と書くことです。



東洋電装

中山 さん

コロナの移動規制も解除され、最近出張の機会が増えて（戻って）きたのでノイズキャンセル機能付きのヘッドホンを新調しました。ノイズキャンセル良いですねー移動中に資料等を作ることが多いのですが、こないだは集中しすぎて一駅過ぎてました（笑）



おたより
募集中

【応募方法】

●氏名 ●掲載用ペンネーム ●住所 ●電話番号 ●投稿内容を記入して社員へ手渡し、または Eメール、郵便、FAX にてお送りください。
※掲載にあたり、文章に手を加えさせていただく場合がございます。
※二重投稿はご遠慮ください。
※掲載された方には薄謝をお送りしますので、住所・氏名・電話番号は正確にお書きください。
※ご記入いただいたあなたの個人情報は、この企画の目的以外には使用いたしません。

【Eメール】

info-hp@t-denso.com

【郵便】

〒731-0103

広島市安佐南区緑井4丁目22-25 広報担当

【FAX】

082-831-2588